

公聴会の公述意見の要旨と市の見解

意見の要旨及び理由	市の意見
<p>居住誘導区域とか誘導施設とか、都市機能誘導施設と誘導という言葉が大変多く使用されている。誘導は市民の立場に立って、都市づくりをする姿勢とはなじまないのではないかと思い、少し違和感を覚える。安全安心なまちづくりを願う市民を一体どこに誘導するのかとても不安を感じた。</p>	<p>都市機能誘導区域や居住誘導区域などの名称については、国のガイドライン等に即して定めています。今後、土地取引をされる場合に、それらの区域について事業者等に確認いただく必要があり、誤解が生じないよう全国的に統一されている名称を使用しています。なお、ご意見を踏まえまして、一部の文言につきましては分かりやすい表現に変更します。</p>
<p>安心安全の基本となる地域コミュニティを大切にしていない視点を感じた。 公民館や行政サービス施設を、既存の機能の充実を図るものとして具体的に記入をして欲しい。 (理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館は社会教育法に具体化された社会教育施設の一つであり、市民の学ぶ権利を保障した、とても大切な施設である ・ 公民館が大きな役割を果たしてきたことを、忘れてはならない。 ・ プランも市民と協働して、市民の声を聞いて作って欲しい。 	<p>宇治市では関連部署にてとりまとめております「市民協働によるこれからの公共施設に向けて～公共施設の将来像～」の中で、交流・活動の場づくり、地域のまちづくりの中核となる施設を目指す公共施設として位置づけております。また、本プランでは「公共施設の誘導施設の設定の考え方」にお示ししているとおり、各個別施設計画の整備方針に沿ってとりまとめており、誘導すべき施設として市が設置する地域住民の交流促進のための施設を「地域交流施設」として整理しております。また行政サービスコーナーについては、「第5章 誘導施設及び都市機能誘導区域 誘導施設候補の設定」でお示ししているとおり、行政サービスは日常的な生活利用施設と分類していることから、都市機能誘導施設に位置付けておりません。本プランでは市民意見募集のほか、説明会、まちづくりオープンハウス、公聴会など様々な方法でプランの周知や説明をさせて頂き、ご意見をお聞きしております。頂きましたご意見については、市議会、検討委員会、都市計画審議会などで報告し、ご意見を踏まえとりまとめを行うとともに、頂いたご意見を今後の市政運営の参考とさせていただくため、関係部署と情報共有を図ります。</p>

意見の要旨及び理由	市の意見
<p>人口減少やコミュニティーが衰退しているからこそ、住民参画による地域づくりやまちづくりがこれまで以上に求められ、人づくり、つながりづくり、そして地域づくりが一層求められている。</p>	<p>宇治市では、魅力あるまちづくりを進めるため、「宇治市まちづくり景観条例」を策定し、市民・事業者・行政が協働してまちづくりを進めており、今後も地域の方々と共にまちのあり方について検討を進めてまいりますので、ご理解の程よろしくをお願いいたします。</p>
<p>都市づくりプランの位置づけが分かりにくい (理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宇治市都市計画マスタープランが、2022年に発行されているが、そのあと1年で同じような性格を持つこのプランが出されてるが、その関係が分かりにくい。 ・ プランは一般的抽象的であって、具体的にしたものと思えない。 	<p>本プランは「第1章 未来につなぐ都市づくりプランとは」に記載している通り、まちづくりの将来像を描いた総合的な指針である「宇治市都市計画マスタープラン」の一部であり、マスタープランに実行性を持たせるアクションプランとして位置付けており、人口減少社会に適切に対応した、拠点の特色等に応じた居住のあり方や都市機能のあり方を示したものです。</p> <p>また具体的な記載がないとのご意見につきましては、本プランの「第6章 防災指針」や「第8章 誘導施策」では市の取組みを具体的にお示ししております。</p>
<p>宇治市の現状認識に誤りがあるのではないかと。 (理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宇治市に限らず、日本社会全体にわたって、公共交通と自家用車による交通があって初めて移動とか運輸の機能が実現されてる。高齢化に伴って、免許返納するとちょっとした買物でも非常に苦労している。 ・ バス路線がどんどん縮小されていくと、日常生活の困難さが、さらに、深刻化するということが考えられる。 ・ 移動手段は、経費面でも非常に負担になっており、プランはそうした現状認識に立ってないのではないかと。 	<p>「第2章 現状と課題のなかで本市の現状と将来の懸念として、高齢化による移動困難者やマイカー依存、バス路線の維持の問題について記載しているところです。現状認識としては、市民の皆様をはじめ関係者のご意見を伺い作成した「宇治市公共交通体系基本計画」における公共交通の現状を踏まえた内容で整理しています。</p> <p>市内には鉄道駅が14駅あり、人口の約9割が鉄道駅から1km、バス停留所から400mの範囲内に居住されており、鉄道を中心とした公共交通に恵まれた環境であることからそういった表現にしていますが、関連計画に合わせ丁寧な説明を追記します。</p>

意見の要旨及び理由	市の意見
<p>宇治市の特徴や問題点を正面から取上げていないのではないかと、</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宇治市のまちづくりを考える上で、観光というのはとりわけ重要。 ・ 歴史公園の入場者の数が、予定した数の1割ほどしか入っていない。 ・ 宇治市の災害について、内水災害、山間部の土砂災害は2012年、13年に、非常に深刻な災害が出た。マンションが乱立し集中があると、震災時に、ライフラインとか下水道が破損した場合に、どうなるかという、非常に深刻な問題がある。 	<p>観光振興や歴史公園に関しましては、市内には平等院や世界遺産に代表される観光資源を豊富に抱えておりますことから、本プランでは、観光入込客数や訪問目的、訪問施設については「第2章 現状と課題」で分析するとともに、地域課題等については、関連計画等、各担当部署で検討を進めており、本プランでは関連計画である「第2期宇治市観光振興計画」と連携しながら、持続可能な都市の構築とまちの将来像の実現に向け取り組んでまいります。また、災害リスクの分析については「第6章 防災指針」でお示しており、防災上の課題を抽出するため、災害リスクを分析し具体的な取り組みについて記載しております。今回、ライフライン破損の問題のご意見も頂きましたことから、「第9章 評価指標と目標値及び評価方法」において公共施設等の耐震化率について将来の目標値を設定することとします。</p>
<p>宇治市の都市づくりプランは、宇治市と宇治市民の知恵を生かしてつくるべきである。</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市づくりのプランというのは、宇治市のプランなので、やっぱり宇治市と、宇治市民が主体的に考えて議論してつくり上げるべき。 ・ 宇治市の都市計画プランについては、宇治市と宇治市民が、やっぱり自主的に、相談して、それで練り上げる、それが基本であるので、国交省のマニュアルは参考になれば使った方がいい。 	<p>本プランの作成につきましては、国のガイドライン等に即して定めていますが、国の制度を活用しつつ、宇治市の特徴を未来につなげるまちづくりを推進するための計画として作成しております。</p> <p>市民意見につきましては、本プランでは市民意見募集のほか、説明会、まちづくりオープンハウス、公聴会など様々な方法でプランの周知や説明をさせて頂き、ご意見をお聞きしております。頂きましたご意見については、市議会、検討委員会、都市計画審議会などで報告し、ご意見を踏まえとりまとめを行うとともに、頂いたご意見を今後の市政運営の参考とさせて頂くため、関係部署と情報共有を図ります。宇治市では、魅力あるまちづくりを進めるため、「宇治市まちづくり景観条例」を策定し、市民・事業者・行政が協働してまちづくりを進めており、今後も地域の方々と共にまちのあり方について検討を進めてまいります。</p>